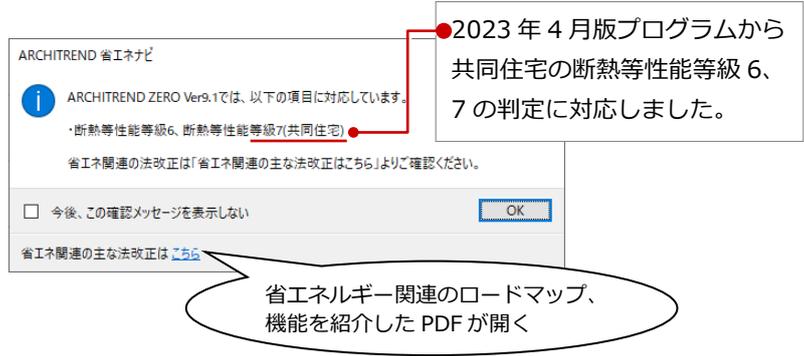


ARCHITREND 省エネナビ Ver.5.1 の新機能

Ver5.1 起動時のメッセージ

ARCHITREND 省エネナビ（以降、省エネナビ）の起動時に 2023 年 4 月更新の項目に対応した旨のメッセージを表示するようにしました。

メッセージ画面の「省エネ関連の主な法改正は[こちら](#)」から、省エネルギー関連のロードマップや、機能拡張項目を追記した新機能紹介の PDF が表示されます。



共同住宅の断熱等性能等級 6、7 対応

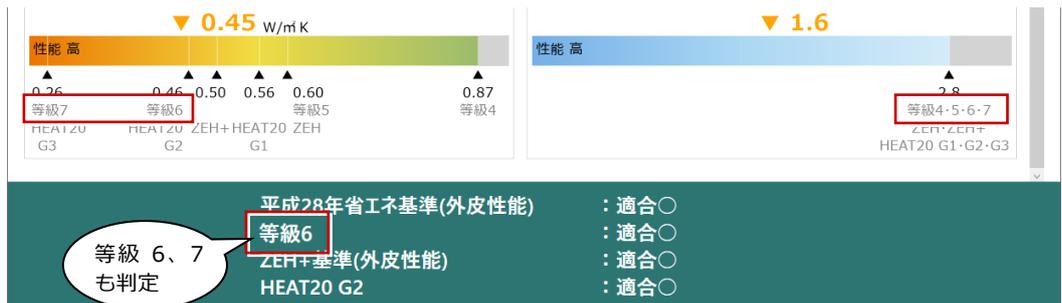
令和 5 年 4 月 1 日施行の、共同住宅の断熱等性能等級 6、7 基準に対応しました。これまで、共同住宅の場合は等級 5 を上限としていましたが、等級 6、7 の判定も可能になります。

外皮性能基準値は戸建て住宅の断熱等性能等級 6、7 と同じです。

※ 戸建て住宅については 2022 年 10 月版で対応済みです。



【Ver5.1】



等級 6、7 も判定

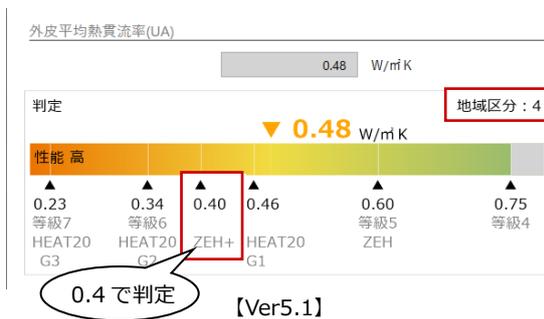
【従来】



等級 5 までの判定

ZEH+の 4 地域の基準値変更

これまで、4 地域の ZEH+ の UA 値は 0.50 で判定していましたが、令和 5 年 4 月 1 日施行からは 0.40 [W/m² K] 以下になりました。これに対応して、2023 年 4 月版以降のプログラムでは 4 地域の ZEH+ の基準値は 0.4 で判定します。



0.4で判定

【Ver5.1】



0.5で判定

【従来】

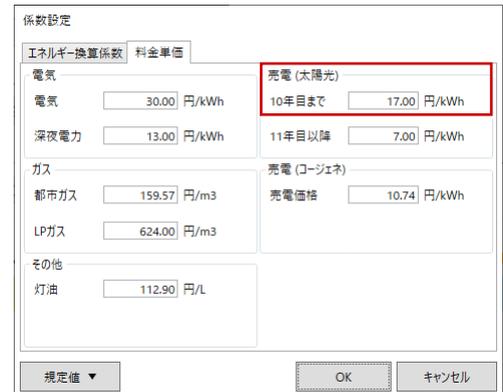
太陽光発電の売電単価変更

太陽光発電の売電単価変更に対応しました。

※ 2023 年度(2023 年 4 月～)は 16 円/kWh (税込み) [10kW 未満] になります。



[Ver5.1]



[従来]

設備機器リスト更新

「住宅性能評価・表示協会 温熱・省エネ設備機器ポータルサイト(住宅版)」において、公開されている設備機器リストが更新された為、省エネナビでの設備機器リストも更新しました。

以下の設備機器を追加更新しています。

- 給湯 給湯熱源機：電気ヒートポンプ給湯機（CO2 冷媒または R32 冷媒）で品番指定の機器リスト
- 給湯 給湯熱源機：電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機で品番指定の機器リスト
- コージェネ：品番指定（PEFC・SOFC）の機器リスト



液体集熱式太陽熱利用設備の更新

国立研究開発法人 建築研究所のエネルギー消費性能計算プログラム Ver3.4 に対応し、給湯設備の「液体集熱式太陽熱利用設備」を更新しました。

液体集熱式太陽熱利用設備を設置する場合に、給湯接続方式を選択できるようになり、「設備機器による入力項目」も設備の種類によって項目名が更新されています。

【Ver5.1】

【ソーラーシステムの場合】

【従来】

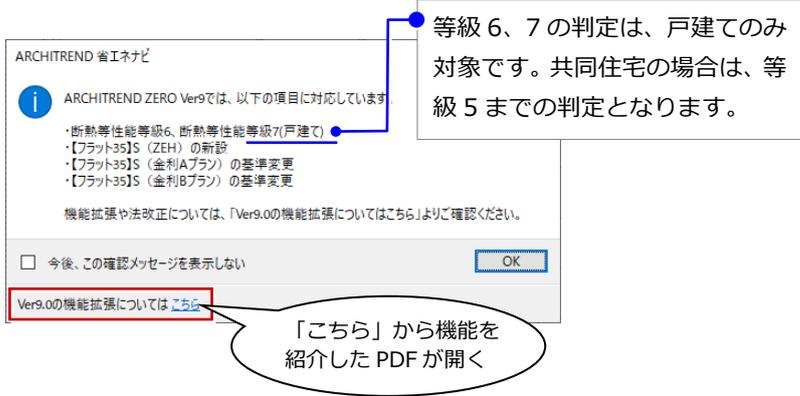
ARCHITREND 省エネナビ Ver.5 の新機能

※ 2022年10月版プログラムの対応については、P.6をご参照ください。

拡張機能のメッセージ

ARCHITREND 省エネナビ（以降、省エネナビ）の起動時に2022年10月更新の項目に対応した旨のメッセージを表示するようにしました。

メッセージ画面の「Ver9の機能拡張については[こちら](#)」から、拡張項目を追記したこの新機能紹介のPDFが表示されます。



断熱性能等級 6、7 に対応

2022年10月からの断熱等級 6、7 の新設に対応しました。



8 地域の場合は、UA はどの等級においても基準がないため、下図のような表示になります。

η AC は、等級 2~3、7 で基準値がないため、等級 6 までの判定になります。



※ 共同住宅の場合は、等級 5 までの判定となり、等級 6 以上は表示されません。

シミュレーション条件

建物形態・工法: 共同住宅 | 木造軸組構法

ガス種類: 都市ガス

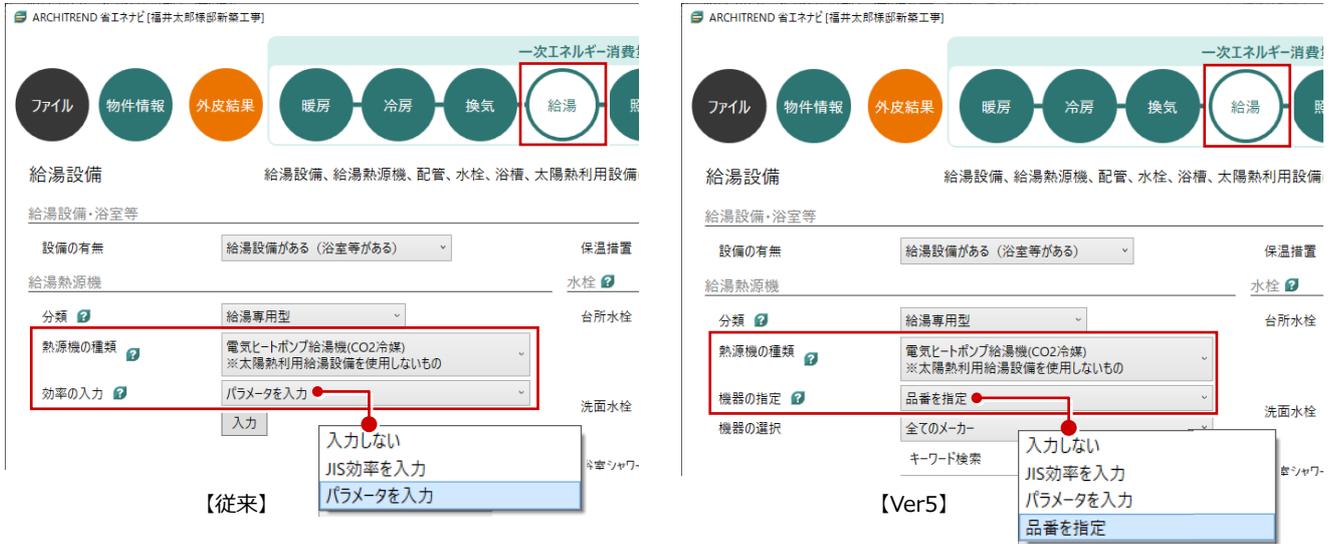
【物件情報】



給湯「品番を指定」に対応

「給湯」の「給湯熱源機」で、熱源機の種類を「電気ヒートポンプ給湯機(CO2冷媒) ※太陽熱利用設備を使用しないもの」にした場合に、「品番を指定」を選択できるように対応しました。

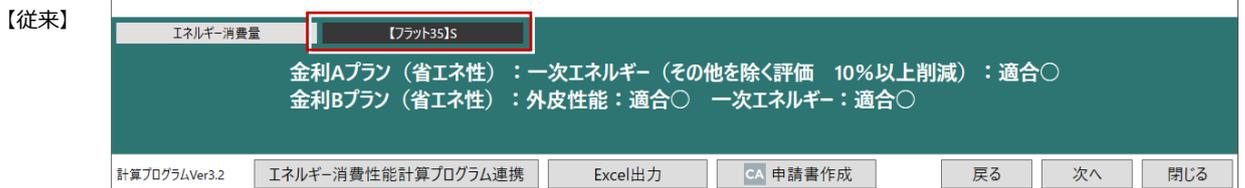
使用する機器を品番で指定することで、これまで各パラメータを入力していた手間を省くことができます。



フラット35S (2022年10月) 対応

2022年10月からフラット35Sの区分が追加され、基準も変更されました。省エネナビ Ver5 では、これらに対応した判定結果で表示します。

【フラット35】S区分	現行の基準	2022年10月以降の基準
ZEH	なし	<ul style="list-style-type: none"> ● ZEH 基準をクリアすること ● 断熱等性能等級 5 以上 かつ 一次エネ(再エネ除き 80%以上 かつ再エネ含む 100%以上)
金利 A プラン	一次エネ等級 5 以上	<ul style="list-style-type: none"> ● 断熱等性能等級 5 以上 かつ 一次エネ等級 6
金利 B プラン	断熱等級 4 以上 かつ 一次エネ等級 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 断熱等性能等級 4 以上 かつ 一次エネ等級 6 ● 断熱等性能等級 5 以上 かつ 一次エネ等級 4、又は等級 5



計算プログラム Ver.3.3 に対応

省エネナビ Ver5 10月版から、一次エネルギー消費量計算プログラムの Ver.3.3 に対応しました。

10月版から、画面左下の一次エネルギー消費量計算プログラムのバージョンが、「計算プログラム Ver.3.3」表示です。

計算プログラムVer3.3

[Ver5 : 10月版]

■ 暖房：「主たる居室」の「設備機器の種類」に「温水床暖房（併用運転に対応）」を追加

「温水床暖房（併用運転に対応）」を選択した場合、「設備機器による入力項目」に「敷設率」などの項目を表示します。

■ 一次エネルギー消費量結果「Excel 出力」を Ver.3.3 用に更新

建築研究所「エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版）」で出力できる PDF のフォーマットが変更されたため、「Excel 出力」のフォーマットを一部変更しました。

等級6 (その他、太陽光発電を除く評価 20%以上削減) : 適合○
BEI : -0.36 BELS : ★★★★★

計算プログラムVer3.3 エネルギー消費性能計算プログラム連携 **Excel出力** CA 申請書作成

[Ver5 : 9月版]

2. 判定

	適用する基準	一次エネルギー消費量[GJ/(戸・年)]		結果
		設計一次エネルギー	基準一次エネルギー	
建築物省エネ法	建築物エネルギー消費性能基準 (H28年4月以降)	42.0	80.0	達成
	建築物エネルギー消費性能基準 (H28年4月現存)		85.8	達成
	建築物エネルギー消費性能誘導基準 (H28年4月以降)		74.1	達成
	建築物エネルギー消費性能誘導基準 (H28年4月現存)		80.0	達成
エコまち法	低炭素建物に関する認定基準		74.1	達成

一次エネルギー消費量の値は小数点以下一位未満の繰上りを行っているため、「1. 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等」の(4)の合計と一致しないことがあります。

[Ver5 : 10月版]

令和4年10月以降の判定が表示されます。

2. 判定

	適用する基準	一次エネルギー消費量[GJ/(戸・年)]		結果
		設計一次エネルギー	基準一次エネルギー	
建築物省エネ法	建築物エネルギー消費性能基準 (H28年4月以降)	44.9	80.0	達成
	建築物エネルギー消費性能基準 (H28年4月現存)		85.8	-
	建築物エネルギー消費性能誘導基準 (R04年10月以降)		68.2	達成
	建築物エネルギー消費性能誘導基準 (R04年10月現存)		80.0	達成
エコまち法	エネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準(R04年10月以降)	62.0	68.2	達成
	エネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準(R04年10月現存)		74.1	達成
	低炭素化の促進のために誘導すべきその他の基準		9.8	50.6

一次エネルギー消費量の値は小数点以下一位未満の繰上りを行っているため、「1. 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等」の(4)の合計と一致しないことがあります。